

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社 ユーズキャリア

②事業者情報

名称：	ゆうゆうくじら第2保育園	種別：	保育所
代表者氏名：	梶 弘子	定員(利用人数)：	60 名
所在地：	〒362-0021 埼玉県上尾市原市4004-1	Tel	048(722)6111

③評価実施期間

令和7年5月27日(契約日)～令和7年10月10日(評価結果確定日)

④総評

◇特に評価の高い点

1. 自然の中で興味や気づきを育てる保育

広い畑があり、園児は種を植えたり野菜を育てたりしながら、四季折々の自然の中で思いきり体を動かしています。虫や草花、野菜や木々など、自然の命の営みを体感し、自分で遊びを見つけ、発展させていくことができる環境を活かした保育が行われています。

自然に触れることで子どもの興味や関心は広がり、保育内容で掲げる「季節の変化に気づきながら自然に親しみ、ふれあいを慈しむ」という目標が、園の緑豊かな環境を通して実現されています。その結果、遊びを通して自主性や健康づくりにつながり、園児に良い影響を与えていると感じます。

保護者アンケートでも、自然に関わる遊びや屋外活動、健康づくりへの取り組みは高い評価を受けています。

2. 保育と食育が一体化した保育

管理栄養士を中心に、食育への取り組みが十分に行われています。園内には畑があり、収穫体験や収穫した食材を屋外で食べる活動を通じて、子どもが自然と「食」に関心を持つ機会が設けられています。

これらの取り組みは、保育研究会で発表されるなど、外部からも評価を受けています。

3. 子どもの主体性を伸ばす保育実践

保育士は子どもの意思や言葉に耳を傾け、意見や選択を尊重しながら活動内容に反映させています。職員は必要以上に介入せず、サポートとして見守る姿勢を大切にしています。

異年齢児の交流時間には、年上の子が年下の子の世話をしたり、年長児が誕生会や行事、「わくわくデー」といった活動で役割を担う機会があります。こうした場面を通して、年長児の意識を高め、自ら考えて行動する力が育まれています。

遊びにおいても、子どもが主体的に取り組めるよう、保育士が模索し工夫している姿勢は、たとえ目標の途中段階であっても評価に値します。今後も園全体で子ども一人ひとりと向き合い、主体性をさらに高める活動が期待されます。

4. ワークライフバランスの充実

職員の職場環境も改善が進み、時間外労働は1時間以内に抑えられています。サポート体制が整備され、職員の定着率も向上しています。また、業務の偏りが生じないよう業務分担を明確化し、近隣保育園とのヘルプ体制を確保するなど、さらなる勤務環境の改善に努めています。

また、「多様な働き方実践企業」としてプラチナ認定を獲得しており、働きやすい職場づくりが推進されています。

◇改善を求められる点

1. 事業計画の充実

事業計画は策定されていますが、単年度ごとの具体的な事業内容や、実行可能な計画をより明確に示すことで、職員全体の共通理解が深まります。

また、保護者や家族への周知も含め、計画の透明性を高めることが課題として挙げられます。今後、この点に積極的に取り組まれることを期待します。

2. 家族への情報伝達方法の改善

保護者アンケートでは、園の運営について肯定的な評価が多数寄せられています。

しかし一方で、保護者や家族との連絡手段や情報共有の方法について改善を求める声も見られました。園側もその課題を認識しているため、今後の改善に向けた取り組みに期待が寄せられます。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

ゆうゆうくじら第2保育園の特色に対しての肯定的な意見が園としては今後の保育の励みになります。また、改善点については真摯に受け止め、今後に繋げていきたいと思えます。

保護者アンケート、職員アンケートを参考により良い保育を実践しようと第三者評価を受審して決意を新たにしました。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり